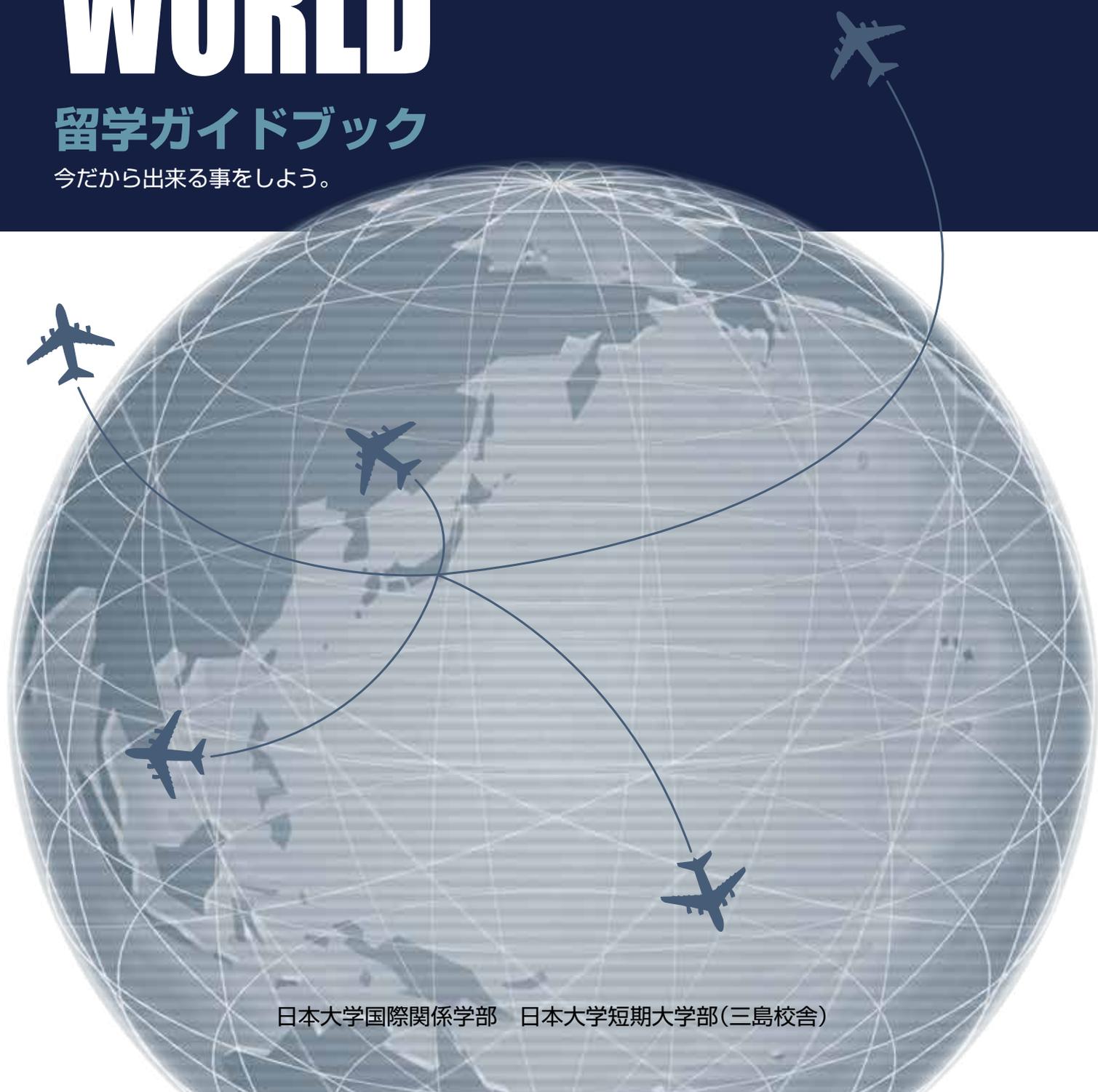


**N.** 2016 Study Abroad

# CHALLENGE YOUR WORLD

留学ガイドブック

今だから出来る事をしよう。



日本大学国際関係学部 日本大学短期大学部(三島校舎)

# ～ はじめに ～

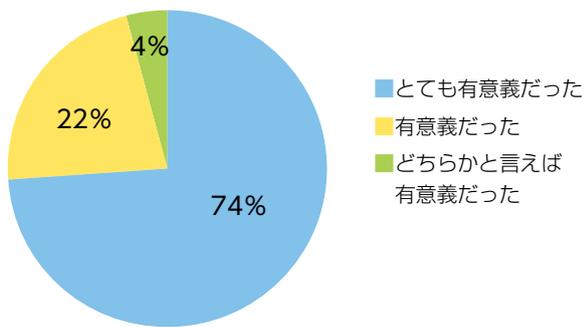
「留学」とは単なる語学の習得のみでなく、その国の歴史や文化・風土を肌で感じ、その世界に飛び込んでいくことです。そこで得たものは人生での大きな経験となり、人間力の向上に大いに役立つものです。留学のために半年から1年という中長期間の時間を確保することができるのも、この学生時代しかないのではないのでしょうか。日本人の海外留学者数が減少している昨今、是非皆さんには積極的に留学にチャレンジしていただき、海外の大学で大いに学び、視野を広げ、帰国後もその貴重な留学経験を社会でしっかりと生かしていただきたいと願っています。

本学部では留学支援のための国際交流プログラムを用意しています。海外の大学等と覚書、合意書を取り交わし、学術、文化の交流を行い、1年間の交換留学をはじめ、半年間の中期留学も実施しています。休学することなく留学し、4年間で卒業するための単位認定や授業料の減免等の優遇措置も整備されています。

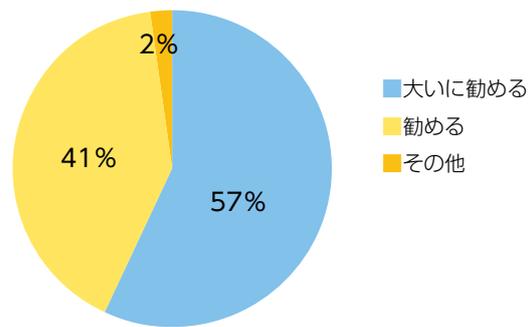
また、約1か月間の短期海外語学研修プログラムや、日本や日本文化等を海外の小中学校で紹介する2か月間のティーチング・インターンシップ・プログラムも用意していますので、あなたの目標に応じて参加してみてください。本冊子後半に掲載している昨年度留学した先輩方の報告書（国際交流体験記）と併せてご覧ください。

## 留学者帰国後アンケート結果（中期留学）

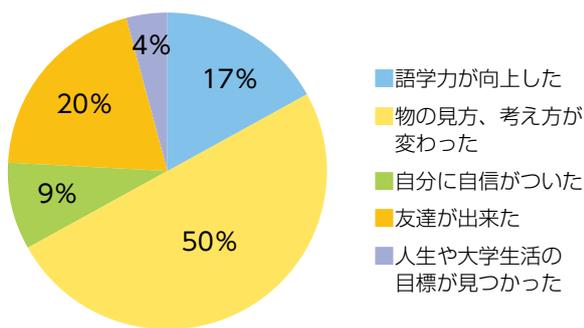
### ① 留学は有意義でしたか？



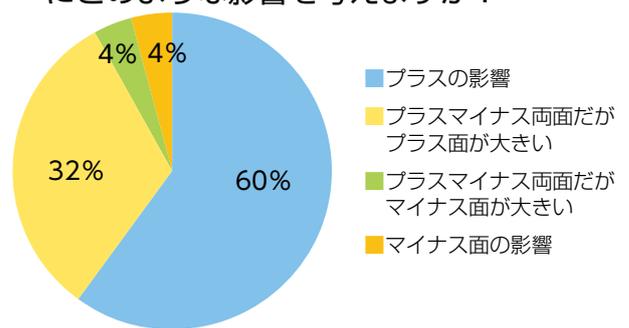
### ② 後輩へ中期留学を勧めますか？



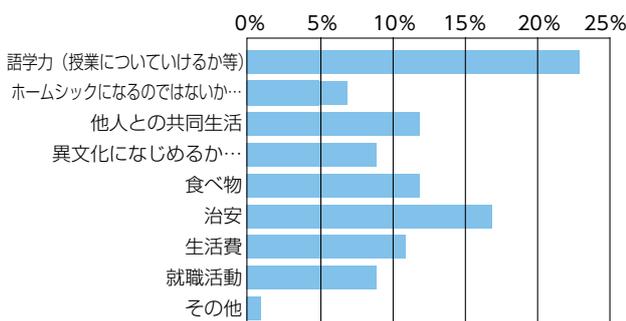
### ③ 留学してもっともよかったことは？



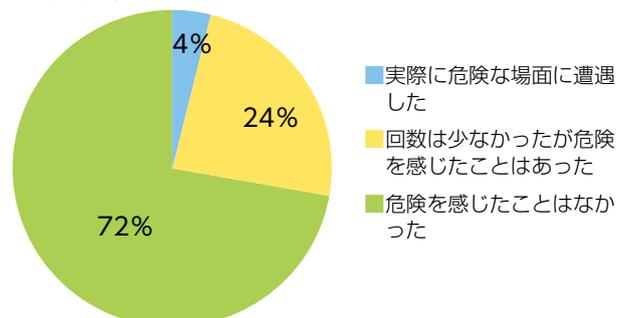
### ④ 3年次参加学生の皆さん、留学は就職活動にどのような影響を与えますか？



### ⑤ 留学を決心する際に不安だったことは？



### ⑥ 留学期間中に身の危険を感じたことがありますか？



## 残そう、自分だけの留学プロフィール

“豊かな人生とはどんな人生なのか、自分の価値観を見つめ直す時間が多くありました。そんな時間を持つのも、留学の醍醐味なのかなと思いました。”

(「留学体験記」全文は23ページに掲載)



留学 プロフィール1	プログラム名	期 間
	派遣交換	約1年間
	派遣先	参加資格
	ヨハネス・ゲーテンベルク大学(ドイツ)	10ページを参照

“インドには、まるでごちゃごちゃに混ぜられたサラダのように、たくさんの方が入り乱れ存在している。日本にいる限りでは、おそらくこれらのことを完全に理解するのは難しいだろう。”

(「留学体験記」全文は26ページに掲載)



留学 プロフィール2	プログラム名	期 間
	中期留学	約半年間
	派遣先	参加資格
	ゴア大学(インド)	13ページを参照

“学内には様々な留学プログラムがありましたが「学びに行く」のではなく「教えに行く」という他と少し違ったコンセプトに強く惹かれました。”

(「留学体験記」全文は31ページに掲載)



留学 プロフィール3	プログラム名	期 間
	ティーチング・インターシップ・プログラム	約2ヶ月間(海外実習期間)
	派遣先	参加資格
	海外の小中高校	20ページを参照

“実際に現地に行って勉強することで今まで知らなかったことや発見がたくさんあり、自分の視野が広がったことを実感しました。カナダで過ごした1ヶ月は一生の宝物です。”

(「留学体験記」全文は30ページに掲載)



留学 プロフィール4	プログラム名	期 間
	海外短期語学研修	約1ヶ月間
	派遣先	参加資格
	トロント大学(カナダ)	18ページを参照

# スタート

あなたが海外でやってみたいことは？



海外で子供たちに日本について教えたい

海外で語学を中心に学びたい

海外で一般科目を中心に学びたい

YES

NO

YES

YES

NO

NO

YES

YES

YES

YES

NO

**ティーチング・インターンシップ・プログラム**  
海外で子供たちに日本を教える  
P20

**ハワイ大学 夏期英語 集中講座**  
三島でハワイ大学の授業を受けよう！  
P16

**短期海外語学研修**  
休みを利用して海外で語学力UP  
P17

**ジョイント・ディグリー・プログラム**  
2つの学位を目指す最難関プログラム  
P15

参加資格が厳しくなければ語学以外にも挑戦したい

6か月以上希望

YES

NO

YES

NO

**認定留学**

自分の決める語学留学

P14

**中期留学**

語学だけでなく一般科目も学べる

P13

**派遣交換留学**

難関を突破して現地の学生と学ぶ

P9



# 目次

はじめに	1
残そう、自分だけの留学プロフィール	2
チャート	3
目次	4
日本大学・国際関係学部の留学制度 / ユニークなプログラム	5
留学プログラムの選び方 / 留学に関する FAQ	6
留学に出発するまでの6ステップ	7
奨学金について / 留学研修プログラム一覧	8

## 留学・短期海外研修

◆派遣交換留学	9
◆中期留学	13
◆認定留学	14
◆ジョイント・ディグリー・プログラム	15
◆ハワイ大学 夏期英語集中講座	16
◆短期海外語学研修	17
◆ティーチング・インターンシップ・プログラム	20
◆国際教育センター / バディプログラムについて	21
◆TOEFL® テスト	22

## 国際交流体験記の紹介

◆派遣交換留学	
学部派遣	23
本部派遣	24
◆中期留学	
セント・ノーバート・カレッジ (アメリカ)	25
ゴア大学 (インド)	26
北京大学国際関係学院 (中国)	27
◆認定留学	
ノルテ大学 (コロンビア)	28
◆ジョイント・ディグリー・プログラム	
ニューヨーク州立ストーニーブルック大学 (アメリカ)	29
◆短期海外語学研修	
トロント大学 (カナダ)	30
◆ティーチング・インターンシップ・プログラム	
Discovery School of Lancaster (アメリカ)	31
ナラン学校 (モンゴル)	32
◆教員の交流	
モンゴル・ナラン学校 ドルジ・ネルグイ校長	33

# 日本大学国際関係学部留学制度

## 留学しても4年間で卒業

国際関係学部の留学制度を利用することで、留学先の学習成果に応じて単位認定が可能になり、休学することなく留学することができます。最短で4年間での卒業も可能です。(ジョイント・ディグリー・プログラムは最短で4年半)



大学4年間の間に留学できる

## 留学にチャレンジしやすい費用制度

留学期間中の学費は、1年間で12万円(半年間の場合6万円)の留学在籍料のみとなります。



学費は在籍料のみ

## 豊富な留学先、選べる留学期間

最大2年間の長期留学から、夏休みや春休みを利用して参加できる短期海外語学研修まで、自分に合ったプログラムを選ぶことができます。また、国際関係学部が主催するプログラムだけでなく、日本大学本部が主催するプログラムにも参加することができます。



自分に合ったプログラムが選べる

# ユニークなプログラム

いずれも10年以上続く国際関係学部ならではの留学プログラムです。

## ティーチング・インターンシップ・プログラム

海外の小中高校で、日本語や日本文化を教えるプログラムです。最長で約半年間の事前講習のあと、約2か月間の現地実習を行います。教員志望者以外でも参加できます。



海外で子供たちに「日本」を教える

## 中期留学

約半年間の留学ですが、充実した中身で人気の留学プログラムです。最大の特徴は語学だけでなく一般科目も含まれる履修内容です。学生ビザの取得や渡航手続き、学生寮の手配も大学が手配するので安心です。就職活動や教職課程に対する影響を最小限に抑えることができるのも人気の理由です。



インド・ゴア大学中期留学

## ハワイ大学夏期英語集中講座

夏休み中のキャンパスに、ハワイ大学から講師と学生アシスタントを招いて行う2週間の英語集中講座です。講座内容はハワイ大学で行われているものとほぼ同じで、修了式ではハワイ大学からの修了証書も授与されます。

# 留学プログラムの選び方

## 目的から選ぶ

語学習得が目的であれば、特に参加資格はありません。海外の大学で一般科目を受講したい場合は、語学力や学業成績の基準を満たすことが必要になります。基準の内容や難易度はプログラムによって異なります。



外国語を学ぶのか、外国語で学ぶのか

## 場所から選ぶ

留学先の都市や国は留学プログラムを選ぶ上で重要です。自分の希望する国や都市がプログラムにない場合は、日本大学の提携校を探してみましょう。提携校の付属機関であれば、単位認定が認められる認定留学という制度も利用可能です。



どうしても留学したい国がある

## 留学成功の鍵、情報収集

留学先を決める前にできるだけ多くの情報を集めましょう。留学アドバイザーの先生はもちろん、友達や先輩に経験者がいれば話を聞いてみるのも良いでしょう。重要なのはできるだけ多くの情報を集めることです。国際教育センターでは皆さんの効率よい情報収集をサポートします。



留学の成功は出発前に決まる！？

# 留学に関するFAQ

## Q 「参加資格に語学力があるプログラムは自分には無理」

**A** 英語力の基準であるTOEFL-ITP®の場合、学部派遣に必要な550点を取得できる学生は毎年数名ですが、中期留学に必要な400点以上のスコアは、受験者の半数以上、すなわち年間200名以上の学生が取得しています。語学の鉄則は早いスタートと反復です。550点も決して夢ではありません。あきらめずにチャレンジしましょう。

## Q 「どうせ行くなら1年以上でないと意味が無いと聞きました。」

**A** 留学を通じて身につける語学力は、授業以外の時間を含めた毎日の過ごし方によって決まります。たとえ1年間の留学でも授業以外は自室にこもっているようであれば、外国語を実践する機会を失い、語学力は身につけません。しかし、たとえ3週間の短期研修であっても会話する機会を求めて積極的に行動すれば、十分な成果を得られるはずですよ。

## Q 「3年次に留学すると就活に影響がある？」

**A** 3年次の留学は、2年次の留学に比べて就職活動に影響を受けることは確かです。しかし、留学前の準備に加え、留学先でも情報収集に努めれば、デメリットを最小限に抑えることは十分可能です。就職指導課では留学する学生のサポートも行っています。事実3年次に留学を経験した後、内定を得た先輩は少なくありません。まさに本人次第と言えるでしょう。



## Q 「日本人がいない場所でないと語学力が伸びない？」

**A** 日本語を話す相手がいなければ日本語を話す心配もないというのは事実ですが、外国語を積極的に使おうとする意志が無ければ、たとえ相手が外国人でも結果は変わらないでしょう。そもそも、日本人が1人もいない留学先を見つけるのは容易ではありません。どのような環境に置かれても目的意識をしっかりと持つことが必要です。



結局のところ、その人次第

# 留学に出発するまでの



Step



ステップ

## ステップ 1

### 情報収集

「留学成功の鍵です」

プログラムごとに行われる**募集説明会**では、プログラムの概要、出発から帰国までの大まかな流れについての説明に加え、経験者から直接話を聞くことができます。

説明会の開催スケジュールや使用された資料は**国際教育センターWEBサイト**でいつでも確認することができます。また、国際教育センターWEBサイトには、参加者の体験談やアンケート調査の結果なども掲載されています。

## ステップ 2

### 留学相談

「充実の目的別相談窓口」

**国際教育センター**では、留学専門の職員からアドバイスを受ける事ができるほか、留学先別の資料を閲覧できます。

また、**留学アドバイザー**の先生からは、留学した際の履修計画など学習面についてのアドバイスを受ける事ができます。

さらに、留学中、留学後の就職活動については、**就職指導課**がサポートしています。留学経験者向けの就職説明会にもぜひ参加しましょう。

## ステップ 3

### 参加資格のクリア

「計画的、継続的に」

参加を希望する留学プログラムに語学力や学業成績に関する参加資格がある場合は、すぐに準備を始めましょう。その際せっかく参加資格をクリアしたのに申込期日に間にあわなかった、ということのないように学習計画をたてる事が大切です。なお、TOEFL®などの語学資格試験は繰り返し受験することで、ある程度のスコアアップを期待できます。図書館の参考書、問題集を活用し早めに準備を始めましょう。

## ステップ 4

### 参加申し込み / 選考

「後回しは禁物」

参加資格をクリアしたら、参加の申込みをしましょう。申し込み方法は、募集説明会、国際教育センターWEBサイト、国際教育センター窓口で確認できます。申込書類には取り寄せるのに時間がかかるものがあるので注意が必要です。なお、派遣交換留学、ティーチング・インターンシップ・プログラムのように書類提出後に選考試験（書類・面接選考）を伴うプログラムもあります。

## ステップ 5

### 入学・渡航手続き

「締切日に注意」

留学先が決まったら留学先への入学申請、航空券や入国ビザの手配を進めます。短期海外語学研修、中期留学のように大学が手続きをサポートするプログラムもあれば、派遣交換、認定留学、ティーチング・インターンシップ・プログラムのように自分で手続きをしなければならないプログラムもあります。なお、帰国後の単位認定が必要な皆さんは、**単位認定説明会**に必ず参加してください。

## ステップ 6

### 出発

「留学中もサポート」

留学予定者向けに開催される**海外危機管理セミナー**に参加するなどして出発日までに現地の情報を収集しておきましょう。

国際教育センターでは皆さんの留学中のサポートも行っていますが、留学先で困ったことが起きたら、まずは留学先のスタッフに相談しましょう。また留学中のゼミ入室手続きは国際研究室、就職活動に関する相談は就職指導課がそれぞれサポートしています。

## 奨学金について

国際関係学部で実施している留学プログラムに参加する学生は、全てまたは成績上位者に各種奨学金の給付を受けることができます。

### ●日本大学三島後援会 海外交流奨学金

日本大学三島後援会会則に基づき、学生の海外交流（留学）に関して経済的援助事業を行うことを目的とした奨学金です。日本大学国際関係学部（大学院を含む）及び日本大学短期大学部（三島校舎）に在学する学生で、国際関係学部の協定校である海外の大学及び教育機関に派遣する留学生に対して給付されます。詳細については、国際教育センターにお問い合わせください。

#### 対象プログラム

- 国際関係学部派遣交換留学
- ジョイント・ディグリー・プログラム
- 中期留学
- ティーチング・インターンシップ・プログラム

### ●日本大学国際関係学部柳川海外奨学金（第1種）

日本大学名誉教授柳川三郎先生の寄付金を基金とした奨学金で、主としてドイツにおいて研究・研修を行う者に対する支援を目的とし、提携校のヨハネス・グーテンベルク大学への派遣交換留学生選抜試験に合格した学生に対して給付されます。留学プログラムの募集概要等については国際教育センターへ、奨学金の詳細については学生課へお問い合わせください。

#### 対象プログラム

- ヨハネス・グーテンベルク大学学部派遣交換留学
- ※日本大学三島後援会海外交流奨学金との併用はできません。

## 留学・研修等プログラム一覧

	派遣交換留学		中期留学	認定留学 (制度)	ジョイント・ ディグリー・ プログラム	ハワイ大学 夏期英語 集中講座	短期海外 語学研修	ティーチング・ インターンシップ・ プログラム
	学部	本部						
掲載ページ	9	※	13	14	15	16	17	20
期 間	1年	1年	半年	半年～2年	2年～	2週間	2～4週間	2か月 (事前研修半年)
派遣先学校数	9校	約20校	3校	制限なし	1校	—	8校	7校
人数/校	1～2名	1～2名	15～20名	規定なし	若干名	45名	20～30名	1～2名
言語	英、中、独 韓、西	英、中、独 仏、韓	英、中	英、中、独 仏、韓、西	英	英	英、中、独 仏、西	英、西 モンゴル
単位認定	○	○	○	△	○	○	○	○

※日本大学本部主催の派遣・交換についての詳細は、ホームページで確認してください。  
[http://www.nihon-u.ac.jp/international/study\\_abroad/](http://www.nihon-u.ac.jp/international/study_abroad/)

## 派遣交換留学

- 留学先の一般学生と一般科目を中心に学ぶ
- 留学先の授業料免除
- 参加資格として高い語学力や学業成績が求められる

単位認定あり

奨学金あり

派遣交換留学とは、日本大学本部及び国際関係学部が交換留学に関する協定・覚書・合意書を締結している大学へ学生を派遣する制度です。（日本大学本部派遣交換留学の詳細は、日本大学本部のホームページで確認してください。）大学・学部の代表として選ばれた者だけが交換留学生として提携校に派遣されます。語学力だけでなく全般的な学力や責任のある行動や態度が求められることとなります。なお、提携校の授業料は免除となり、奨学金も給付されます。

派遣交換留学				
<b>セント・ノーバート・カレッジ（アメリカ）</b>				
ウィスコンシン州にある小規模の地域密着型大学。アメリカ中西部のトップ校のひとつに挙げられたこともある。特に International Education の分野で有名で、留学生の受け入れ、派遣に積極的に取り組んでいることが特徴。				
派遣期間	8月～5月	学生数	約2,300名	
説明会時期	9月下旬～10月上旬	募集時期	11月	
参加資格	TOEFL-iBT@79点以上／IELTS6.5以上、GPA2.8以上		滞在先	学生寮
		費用目安※	約160万円	

派遣交換留学				
<b>ニューヨーク州立ストーニーブルック大学（アメリカ）</b>				
ニューヨーク州郊外のストーニーブルックに本部を置くアメリカの研究型州立総合大学である。研究と教育の分野で世界的に知られている。学生団体による異文化交流が盛んで、世界中から留学生を受け入れている。				
派遣期間	8月～5月	学生数	約24,000名	
説明会時期	9月下旬～10月上旬	募集時期	11月	
参加資格	TOEFL-iBT@80点以上／IELTS6.5以上、GPA2.8以上		滞在先	学生寮
		費用目安※	約190万円	

派遣交換留学				
<b>韓国カトリック大学校（韓国）</b>				
アジアの国際化のHUB、グローバルなカトリック大学校を目指している。特に韓国国内でもトップレベルと評価される医学部は、国内に8つの附属病院を所有している。				
派遣期間	2月～12月	学生数	約11,600名	
説明会時期	4月上旬～中旬	募集時期	6月	
参加資格	韓国語及び韓国文化に一定の関心を有すること、GPA2.8以上		滞在先	学生寮
		費用目安※	約85万円	

※費用目安は、往復の航空券、宿泊費、食費の目安です。（平成28年3月現在の為替レートで試算）生活費、保険料などは含みません。上記の情報は変更となる場合があります。詳細は各プログラムの説明会で確認してください。

派遣交換留学				
<h3>世宗大学校（韓国）</h3> <p>首都ソウルにキャンパスがあり、韓国国内の大学で最大規模の博物館を所有している。ホテル経営学、アニメーションの分野などで評価が高い。本学部との学生交流が盛ん。</p>		 		
派遣期間	4月上旬～中旬	学生数	約11,600名	
説明会時期	4月上旬～中旬	募集時期	6月	
参加資格	韓国語及び韓国文化に一定の関心を有すること、GPA2.8以上		費用目安※	約93万円

派遣交換留学				
<h3>同済大学（中国）</h3> <p>上海市の北部にある理工系大学。中国政府により国家重点大学に指定されている名門大学で欧米からの留学生が多いのも特徴。特に建築、都市計画の分野で知られている。</p>		 		
派遣期間	9月～7月	学生数	約40,000名	
説明会時期	9月下旬～10月上旬	募集時期	11月	
参加資格	中国語及び中国文化に一定の関心を有すること。GPA2.8以上		費用目安※	約60万円

派遣交換留学				
<h3>静宜大学（台湾）</h3> <p>台湾でも特に気候の良い台中西部に位置するカトリック系大学。キリスト教の教義を取り入れた教育方針のもと、世界中から学生を受け入れている。台湾ならではの文化や歴史を感じながら留学生活を送ることができる。</p>		 		
派遣期間	9月～7月	学生数	約12,000名	
説明会時期	9月下旬～10月上旬	募集時期	11月	
参加資格	中国語及び中国文化に一定の関心を有すること、GPA2.8以上		費用目安※	約80万円

派遣交換留学				
<h3>ヨハネス・グーテンベルク大学（ドイツ）</h3> <p>1477年に設立され、ドイツでは名門大学の一つとして良く知られている。150以上の附属機関、附属病院を有する総合大学で、特に自然科学と経済学の評価が高い。</p>		 		
派遣期間	10月～7月	学生数	約36,000名	
説明会時期	9月下旬～10月上旬	募集時期	11月	
参加資格	ドイツ語を履修済み、または履修中であること、GPA2.8以上		費用目安※	約110万円

※費用目安は、往復の航空券、宿泊費、食費の目安です。（平成28年3月現在の為替レートで試算）生活費、保険料などは含まれません。上記の情報は変更となる場合があります。詳細は各プログラムの説明会で確認してください。

## 派遣交換留学

## デ・ラ・サール大学マニラ校（フィリピン）

マニラ市に位置するフィリピン最高峰の私立大学。キャンパス内の設備も非常に充実している。国際人育成のために世界各国の大学と様々なプログラムを戦略的に進めている。



派遣期間	8月～8月	学生数	約16,000名
説明会時期	9月下旬～10月上旬	滞在先	大学近隣のアパート
	募集時期 11月	費用目安※	約100万円
参加資格	TOEFL-ITP® 480点以上。GPA2.8以上		

## 派遣交換留学

## ノルテ大学（コロンビア）

南米コロンビアの北部に位置する都市バランキージャにある。1966年に設立されたコロンビアでも5本の指に入る名門大学。22の学部、附属病院を有する。



派遣期間	7月下旬～6月下旬	学生数	約37,000名
説明会時期	9月下旬～10月上旬	滞在先	ホームステイ
	募集時期 12月	費用目安※	約110万円
参加資格	スペイン語の能力DELE B1相当。GPA2.8以上		

## 派遣交換留学

## サラマンカ大学（スペイン）

マドリードの西北西に位置する都市サラマンカにある。1218年創設のヨーロッパ4大大学の一つ。現存するスペイン最古の大学で、ヨーロッパを中心に世界各国から学生が集まる名門大学。



派遣期間	9月～6月	学生数	約22,000名
説明会時期	9月下旬～10月上旬	滞在先	ホームステイ
	募集時期 10月	費用目安※	約170万円
参加資格	スペイン語基礎文法習得済み、又はスペイン語科目履修中であること、GPA2.8以上		

※費用目安は、往復の航空券、宿泊費、食費の目安です。（平成28年3月現在の為替レートで試算）生活費、保険料などは含みません。上記の情報は変更となる場合があります。詳細は各プログラムの説明会で確認してください。

## 日本大学海外学術交流協定校 (2016年4月現在)

日本大学では、海外の主要な大学と学術交流協定を締結しています。この協定に基づいて教職員の交流、共同研究の計画実行、留学生の交換、学生の短期研修、学術文化の交流などを行っており、協定校は19か国45機関に及んでいます。

オーストラリア	マッコーリ大学	クィーンズランド大学
ブラジル	サンパウロ大学	
カナダ	トロント大学	
中国	成都大熊猫繁育研究基地 中国管理科学学会 中国伝媒大学 福建師範大学 福建省富閩基金会及び福建省対外友好協会 遼寧大学	北京大学 遼寧省人民政府 山東大学 新疆医科大学 鄭州大学 香港教育学院
台湾	国立中興大学	国立台湾大学
フィンランド	ラッペンランタ大学	
フランス	アヴィニョン大学	
ガーナ	ガーナ大学	
ドイツ	ベルリン自由大学	ヨハネス・グーテンベルク大学
韓国	高麗大学校 慶熙大学校	延世大学校
ロシア	モスクワ国立国際関係大学	ロシア科学アカデミー
スペイン	マドリッド・コンプルテンセ大学	パリヤドリード大学
スウェーデン	ストックホルム大学	
イギリス	ケンブリッジ大学	
アメリカ	エリザベスタウン・カレッジ ジョージ・メイソン大学 アラバマ大学バーミンガム カリフォルニア大学サンタバーバラ校 ケント州立大学	ハワイ大学マノア校 オレゴン大学 ワシントン州立大学 ウェスタンミシガン大学
アイルランド	メイヌース大学	
デンマーク	オーフス大学	
オーストリア	クレムス応用科学大学	
スイス	北西スイス応用科学・芸術大学	

## 国際関係学部海外学術交流覚書・合意書締結校 (2016年4月現在)

国際関係学部では、13か国27大学等と覚書・合意書を取り交わし、学術・文化の交流を行っています。この覚書・合意書に基づき、交換留学生やインターンを派遣しています。

### 覚書

オーストラリア	マッコーリ大学
中国	北京大学国際関係学院
フランス	西カトリック大学 フランス経済商科大学
ドイツ	ヨハネス・グーテンベルク大学
インド	ゴア大学
韓国	慶熙大学校国際・経営学部
フィリピン	デ・ラ・サール大学教養学部
スペイン	パリヤドリード大学 サラマンカ大学
タイ	アサンブション大学
インドネシア	インドネシア教育大学
アメリカ	フェリシアン大学 セント・ノーバート・カレッジ ニューヨーク州立ストーニーブルック大学 イリノイ州立大学
コロンビア	ノルテ大学

### 合意書

韓国	韓国カトリック大学校 白石大学校・白石文化大学校 蔚山大学校国際教育部 世宗大学校 崇實大学校 東国大学校
台湾	静宜大学
オーストラリア	サンシャインコースト大学
中国	同済大学外国語学院 河南大学経済学院

## 中期留学

- 約半年間ながら充実した留学プログラム
- 語学授業だけでなく、一般科目も学べる
- 学生寮滞在、手続きは大学サポートで安心

単位認定あり

奨学金あり（成績上位者）

中期留学は、アメリカ、インド、中国の提携各校に半年間留学するプログラムです。各校には本学部専用カリキュラムが設定されており、語学だけでなく一般科目も学ぶことができます。そのため、参加者には一定以上の語学力が求められますが、語学力に関する参加条件は比較的安く設定されており、派遣先3校あわせて毎年30名以上の学生が参加しています。また、現地学生との交流や小旅行などのイベントも多数予定されているのも魅力です。就職活動や教員免許取得等への影響が小さい約半年間の留学期間に加え、簡単な単位認定手続き、大学がサポートする渡航手続き、キャンパス内学生寮の利用など、安心感のある留学プログラムです。

### 中期留学

#### セント・ノーバート・カレッジ（アメリカ）

ウィスコンシン州にある小規模の地域密着型大学。アメリカ中西部のトップ校のひとつに挙げられたこともある学生数約2000人の名門校。特にInternational Educationの分野で有名で、留学生の受け入れ、派遣に積極的に取り組んでいることが特徴。



派遣期間	8月中旬～3月下旬	学生数	約2,300名
説明会時期	4月上旬、11月	滞在先	学生寮
参加資格	TOEFL® 400点（-iBT32）以上（集中英語コース）	費用目安※	約210万円（集中英語コース）
その他	最初の4カ月間に正規課程で学ぶコースを併設。ただし参加資格はTOEFL550点（-iBT79）以上		

### 中期留学

#### ゴア大学（インド）

ゴア州はインドで最も富裕な州の一つである。1985年に設立されて以来、インドでは4つ星（最高は5つ星）の評価を受けている大学のひとつとして知られ、学生一人あたりの教員数が多いことでも評価されている。



派遣期間	9月中旬～2月下旬	学生数	約2,000名
説明会時期	4月上旬、11月	滞在先	ゲストハウス
参加資格	TOEFL® 400点（-iBT32）以上。	費用目安※	約125万円
その他	費用目安には、朝食、夕食を含みます。		

### 中期留学

#### 北京大学国際関係学院（中国）

中国初の国立総合大学として1898年に創設された、国内でもトップクラスの教育水準を誇る名門校。大都市北京の中にありながら広大なキャンパスを誇る。場所は北京市の中心部に近く、中国のシリコンバレーと言われる中関村にある。



派遣期間	2月中旬～6月中旬	学生数	約32,000名
説明会時期	4月上旬、10月上旬	滞在先	学生寮
参加資格	中国語履修実績（単位取得状況に条件あり。「その他」参照）	費用目安※	約70万円
その他	卒業に必要な単位数が1年次終了時30単位未満、2年次終了時60単位未満の者は除く		

※費用目安は、往復の航空券、宿泊費、食費の目安です。（平成28年3月現在の為替レートで試算）生活費、保険料などは含みません。上記の情報は変更となる場合があります。詳細は各プログラムの説明会で確認してください。

## 認定留学

- 自分で留学先を決める
- 英語圏以外の留学も可能
- 留学先は正規課程または付属教育機関

単位認定あり

「認定留学」とは、外国の大学又はその付属教育機関において、本学部から「留学」として承認を受けて留学する制度のことをいいます。

本学部から認定留学として承認されるには、留学先機関が、本学部が定めた条件を満たし、事前に必要書類を提出する必要があります。学生自身が留学先を決め、入学申請手続きをします。休学をせずに留学でき、卒業要件を満たせば、4年間で卒業できます。

- 留学期間は、留学先大学が定める1学期間等、2年間で限度とします。
- 認定留学申請方法、単位認定については、国際教育センターに確認してください。



### 認定留学先の実績（平成25年度～27年度）

#### 本部提携校

オーストラリア	クイーンズランド大学
カナダ	トロント大学
台湾	国立台湾大学
韓国	高麗大学校
	崇實大学校
	延世大学校
スペイン	マドリード・コンプルテンセ大学
アメリカ	ハワイ大学マノア校
	ウエスタンミシガン大学
	オレゴン大学
	ワシントン州立大学

#### 学部提携校

フランス	西カトリック大学
韓国	慶熙大学校
フィリピン	デ・ラ・サール大学
スペイン	バリアドリッド大学
	サラマンカ大学
インドネシア	インドネシア教育大学
コロンビア	ノルテ大学
韓国	世宗大学校

### 提携校以外（単位認定は正規課程に限る）

台湾	義守大学	中国	海南大学
スペイン	バルセロナ自治大学	オーストラリア	オーストラリア・カトリック大学
	マラガ大学		ボンド大学
カナダ	ウィニペグ大学	オーストリア	ウィーン大学
	メディスンハットカレッジ	フィリピン	聖ラサール大学
アメリカ	カリフォルニア大学	韓国	梨花女子大学
	メリーランド大学	アイルランド	ダブリンシティ大学
	デラウェア大学		
	アリゾナ州立大学		

## SAF留学

SAF（Study Abroad Foundation）は、日本大学本部で加盟している、米国非営利教育機関で英語圏6か国・非英語圏（フランス、ドイツ、スペイン、スイス）に約50校以上の大学とのネットワークがあり、これらの大学の中から希望に合った大学に出願をすることができます。SAF留学は、日本大学国際関係学部では「認定留学」として取り扱うことができます。本学部への手続きは必須で、申請方法等は他の「認定留学」と同じです。まずは、SAF説明会や個別留学カウンセリングに参加してみてください。

## ジョイント・ディグリー・プログラム

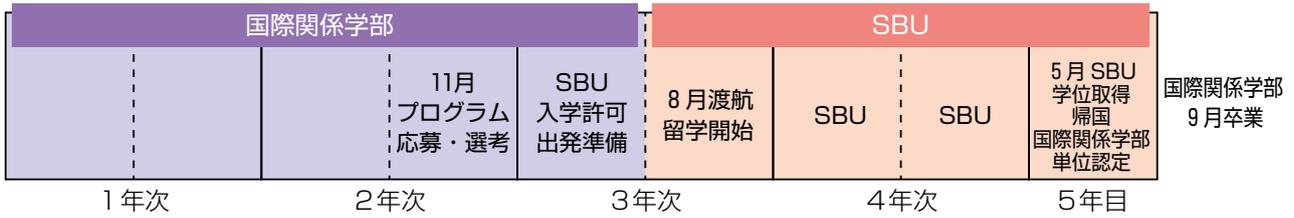
- 留学先、本学で学士号取得を目指す
- 最短で4年半（3年生対象）
- 最難関プログラム

単位認定あり

奨学金あり

ジョイント・ディグリー・プログラムは、国際関係学部にて在籍する学生が3年次後期より2年間アメリカのニューヨーク州立ストーニーブルック大学で修学し、最短4年間半で双方の大学の学士号を取得することを目的としたプログラムです。

モデルプラン（最短で双方の学位を取得する場合）



## ジョイント・ディグリー・プログラム

### ニューヨーク州立ストーニーブルック大学（アメリカ）

ニューヨーク州郊外のストーニーブルックに本部を置くアメリカの研究型州立総合大学である。研究と教育の分野で世界的に知られている。学生団体による異文化交流が盛んで、世界中から留学生を受け入れている。



留学期間	平成29年8月～平成31年5月（最短の場合）	募集人数	若干名
説明会時期	4月上旬	募集時期	11月上旬
		滞在先	学生寮
費用目安※	約430万円／年間（参考値。Stony Brook大学ウェブサイト参照）		
参加資格	3年次の正規課程にて在籍する学生。2年次終了時点でGPA3.25以上。TOEFL-iBT® 79点（PBT550点相当）		

※費用目安は、往復の航空券、宿泊費、食費の目安です。（平成28年3月現在の為替レートで試算）生活費、保険料などは含みません。上記の情報は変更となる場合があります。詳細は各プログラムの説明会で確認してください。

## ハワイ大学 夏期英語集中講座

- 三島でハワイ大の英語講座が受講できる
- 2週間、日曜を除き毎日5時間英語漬け
- 英語を話すことに抵抗がなくなる

単位認定あり

今年で15回目となるこの講座の最大の特徴は、本来ならハワイ大学マノア校に行かなければ受講できない英語集中講座を本学部キャンパスで受講できることです。ハワイで受講する場合の10分の1以下の費用で、アメリカの大学で行われている英語集中講座を体験できるので、「将来は海外語学研修や留学に行きたいけど英語力に自信がない」という皆さんにとって、理想的な予行演習になることでしょう。クラス分けテストで自分の英語力にマッチした授業を受けられるのも安心です。

会話力の向上を主な目的とした授業は1クラス15名をハワイ大学の先生1名と学生アシスタント1名が担当して進められます。大教室や屋外でのレクリエーションをふくめ、楽しみながら英語を学べるように工夫されています。全クラス合同のイベントもあるので自分のクラス以外の参加者や、ハワイ大学の先生方、ハワイ大学のアシスタントの学生とも交流できます。

週末には参加者がハワイ大学のみなさんを静岡県東部の観光スポットに案内するイベント(エクスカージョン)も予定されています。また、最終日に行われる修了式ではハワイ大学から修了証書が授与された後、ディナー・パーティーが行われます。

ハワイ大学夏期英語集中講座			
<h3>ハワイ大学マノア校</h3> <p>ハワイで最も規模が大きい1907年創立の総合大学。アジア太平洋研究、海洋学などが有名である。本部のあるマノア校は、ワイキキビーチやマノア峡谷に近く、都市環境と自然環境が調和したキャンパスを有する。</p>			
開催期間	8月上旬(2週間)	参加学生数	45名(予定) 1クラス15名
説明会時期	4月上旬	開催場所	本学部キャンパス
募集時期	4月中旬～5月中旬	参加費用	45,000円(エクスカージョン費用2,000円程度が別途かかる)
参加資格	国際関係学部生、短期大学部生、日大三島高校生		

## 短期海外語学研修

- 約2週間から1か月の語学研修
- 語学だけでなく、フィールドトリップなども充実
- 修了者には単位認定も可能

単位認定あり

短期海外語学研修とは、語学の実践力を向上させる目的で、日本大学及び国際関係学部・短期大学部が外国の大学などで実施する約1か月程度の短期海外語学研修に参加するプログラムです。実践的なスピーキングやリーディングなどの力を養いながら語学力を向上させることはもちろん、その国の生活文化に直接触れられる機会となります。

短期海外語学研修						
<p><b>ニューヨーク州立ストーニーブルック大学 (アメリカ)</b></p> <p>ニューヨーク州郊外のストーニーブルックに本部を置くアメリカの研究型州立総合大学である。研究と教育の分野で世界的に知られている。学生団体による異文化交流が盛んで、世界中から留学生を受け入れている。</p>						
派遣期間	7月末～8月中旬	約2週間	説明会時期	4月	学生数	約24,000名
滞在先	学生寮	応募締切	5月中旬	費用目安	約57万円	

短期海外語学研修						
<p><b>テキサス・インターナショナル・エデュケーション・コンソーシアム TIEC (アメリカ)</b></p> <p>テキサス国際教育連盟 (TIEC) は、1965年に設立されたテキサス州32の公立教育機関からなる非営利団体。数多くの国際教育分野で実績を残している歴史ある連盟。</p>						
派遣期間	2月上旬～3月上旬	約1か月	説明会時期	4月、9月	学生数	約120名
滞在先	ホームステイ	応募締切	10月中旬	費用目安	約55万円	

短期海外語学研修						
<p><b>ハワイ大学マノア校 (アメリカ)</b></p> <p>ハワイで最も規模が大きい1907年創立の総合大学。アジア太平洋研究、海洋学などが有名である。本部のあるマノア校は、ワイキキビーチやマノア峡谷に近く、都市環境と自然環境が調和したキャンパスを有する。</p>						
派遣期間	2月下旬～	約3週間 (春)	説明会時期	4月、9月	学生数	約18,000名
滞在先	ホームステイ	応募締切	10月中旬	費用目安	約50万円 (春)	

※費用目安は、往復の航空券、宿泊費、食費の目安です。(平成28年3月現在の為替レートで試算) 生活費、保険料などは含みません。上記の情報は変更となる場合があります。詳細は各プログラムの説明会で確認してください。

短期海外語学研修					
<b>北京大学国際関係学院（中国）</b> 中国初の国立総合大学として1898年に創設された、国内でもトップクラスの教育水準を誇る名門校。大都市北京の中にありながら広大なキャンパスを誇る。場所は北京市の中心部に近く、中国のシリコンバレーと言われる中関村にある。					
派遣期間	8月上旬～ 約3週間	説明会時期	4月	学生数	約32,000名
滞在先	北京大学が指定するホテル	応募締切	5月中旬	費用目安	約30万円

短期海外語学研修					
<b>フライブルク大学（ドイツ）</b> バーデン・ヴュルテンベルク州にあり、哲学者フッサールやハイデッガーが教鞭をとったことでも知られる名門大学。語学コースは100年以上前から続いている。					
派遣期間	8月上旬～ 約1か月	説明会時期	4月	学生数	約24,000名
滞在先	学生寮	応募締切	5月中旬	費用目安	約50万円

短期海外語学研修					
<b>西カトリック大学（フランス）</b> アンジェ市内に位置しており、学生にとっては便利で交通の便も良い。CIDEF（語学センター）では、4万人以上の留学生にフランス語教育を施してきた。					
派遣期間	8月上旬～ 約1か月	説明会時期	4月	学生数	約12,000名
滞在先	学生寮	応募締切	5月中旬	費用目安	約60万円

短期海外語学研修					
<b>トロント大学（カナダ）</b> トロントにある名門大学。大都市と自然の融合が美しい街並みの中にある。School of Continuing Studies には、英語を学ぶために世界中から留学生が訪れる。					
派遣期間	7月末～ 約1か月	説明会時期	4月	学生数	約82,000名
滞在先	ホームステイ	応募締切	5月中旬	費用目安	約50万円

※費用目安は、往復の航空券、宿泊費、食費の目安です。（平成28年3月現在の為替レートで試算）生活費、保険料などは含みません。上記の情報は変更となる場合があります。詳細は各プログラムの説明会で確認してください。

## 短期海外語学研修

### サラマンカ大学（スペイン）

マドリードの西北西に位置する都市サラマンカにある1218年創設のヨーロッパ4大大学の一つ。現存するスペイン最古の大学で、ヨーロッパを中心に世界各国から学生が集まる名門大学。



派遣期間	7月末～ 約1か月	説明会時期	4月	学生数	約22,000名
滞在先	ホームステイ	応募締切	5月中旬	費用目安	約45万円

- 短期海外語学研修参加資格（共通） 国際関係学部・短期大学部（三島校舎）の在学生
- 単位認定 国際関係学部在学生 国際交流（外国語実習）2単位を修得可能  
短期大学部生（三島校舎）在学生 海外語学実習2単位を修得可能
- 日本大学本部開催の短期海外研修の詳細は、日本大学本部のホームページで確認してください。  
([http://www.nihon-u.ac.jp/international/study\\_abroad/summer\\_school/](http://www.nihon-u.ac.jp/international/study_abroad/summer_school/))

## 短期海外語学研修

### ハワイ大学（短期大学部食物栄養学科主催）（アメリカ）

ハワイで最も規模が大きい1907年創立の総合大学。英会話だけでなく、栄養系の専門科目、調理実習など、食物栄養学科主催ならではの研修内容。



派遣期間	8月上旬～約3週間（夏）	説明会時期	4月	学生数	約18,000名
滞在先	学生寮	応募締切	5月中旬	費用目安	約35万円（夏）

- 短期海外語学研修参加資格（共通） 短期大学部（三島校舎）の在学生
- 単位認定 短期大学部（三島校舎）
- 国際関係学部在学生の参加希望者は国際教育センターに相談してください。

## ティーチング・ インターンシップ・ プログラム (TIP)

- 海外の小・中・高等学校で日本語、日本文化を教える
- 事前講習（約6ヶ月）と現地実習（約2ヶ月）で構成
- 教員志望者以外も参加可能

単位認定あり

奨学金あり

国際交流の目的のひとつに、国際的な状況下で実践家として活動でき、異なった文化価値が理解でき、あらゆる状況に柔軟に対応できる個人を養成する点があります。ティーチング・インターンシップ・プログラム（TIP）は、この能力を学生たちに身につけさせるために計画・実行されています。事前研修では、教授法に加え現地の文化的特徴なども学びます。その後、現地実習で本学部と提携している海外の小・中・高等学校へインターンとして派遣され、生徒たちに日本語の初歩及び日本文化を現地の言語もしくは日本語で教えます。参加者は、教職課程、日本語養成講座を履修していることが望ましいですが、教員志望者以外の学生も参加できます。

英語圏TIP（オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ）				
<p>一次選考を通過した学生は半年間の事前講習、二次選考を経て、適正に応じてオーストラリア、ニュージーランド、アメリカの学校（平成27年度は7校）のいずれかに派遣されます。派遣先の教職員、生徒との意思疎通のため一定水準以上の英語力が求められます。（豪）Ryan Catholic College, St Anthony's Catholic College, Belgian Gardens State School (NZ) Highlands Intermediate School, Devon Intermediate School, West End School（米）Discovery School of Lancaster</p>				
派遣期間	2月～3月（約8週間）	募集数	若干名（各校1～2名）	
説明会時期	4月初旬、11月	募集時期	4月中旬～5月上旬	
その他	<p>申込時TOEFL®スコアを提出。（基準は無いが450点程度が目安）</p>		費用目安※	約40万円（派遣先により異なる）

モンゴルTIP（モンゴル）				
<p>派遣先となるナラン学校は日本語によるイマージョン教育を実施しているモンゴル唯一の学校です。生徒たちの日本語能力を向上させるために、授業やクラブ活動は全て日本語で行われています。派遣される学生も授業は日本語で行いますが、現地での実習効果をより高めるために、派遣前にモンゴル語を含めモンゴルについて学びます。 ※イマージョン教育とは、母語とは違う第2言語で通常教科を教える教育的試み。</p>				
派遣期間	9月～11月（約8週間）	募集数	2名	
説明会時期	4月初旬、10月初旬	募集時期	10月～11月	
その他			費用目安※	約15万円

スペインTIP（スペイン）				
<p>第一次選考を通過した学生は、約半年間の事前講習、第二次選考を経て、スペインのサラマンカ県サラマンカ市にある小中高一貫校のサレジオ学園に派遣されます。派遣先の教職員、生徒との意思疎通のため一定水準以上のスペイン語力が求められます。</p>				
派遣期間	2月～3月（約8週間）	募集数	2名	
説明会時期	4月初旬、11月	募集時期	4月中旬～5月上旬	
その他	<p>スペイン語はDELE A2程度の語学力を有する者</p>		費用目安※	約40万円

※費用目安は、往復の航空券、宿泊費、食費の目安です。（平成28年3月現在の為替レートで試算）生活費、保険料などは含みません。上記の情報は変更となる場合があります。詳細は各プログラムの説明会で確認してください。

## 国際教育センターについて

国際教育センター(C.I.E.L.D(Center for International Education and Language Development))では、留学相談の窓口として次のようなサポートを実施しています。

- 本学部生を対象とした、派遣交換留学、中期留学、認定留学、短期海外語学研修、ティーチング・インターンシップ・プログラム等の募集、手続き等のサポート
- 海外提携校等からの受入れ交換留学生のサポート
- 本学部生を対象とした TOEFL-ITP®、TOEIC®-IP の受付、実施

場 所 本館1階

窓口業務取扱時間 月～金曜日 9時～17時  
土曜日 9時～13時

### 国際教育センター Web サイト

留学説明会情報、留学体験談、TOEFL® 試験日程等、留学ことについての情報提供をしています。

※ アクセスには日本大学国際関係学部生専用メールアドレスとパスワードが必要です。



<http://goo.gl/QAWgy>

ガイダンス、留学説明会、TOEFL-ITP® 試験日程等は UNIVERSAL PASSPORT や学内掲示板（本館1階、15号館1階）等でもお知らせします。

## バディプログラム

「バディ」とは、ボランティア活動の一環として本学部の海外提携校からの交換留学生等の日本在留中の修学及び生活面を支援する学生のことです。

バディと交換留学生の交流を通じて、互いのコミュニケーション能力を高め、各国の文化・習慣を理解し、さらには自身の語学能力を向上させることができます。バディプログラムは、海外留学（海外研修）意欲を高めるとともに、留学生の日本での不安や疑問を解消して日本留学を有意義なものとすることを目的としています。

### 対象プログラム（例）

1. 交換留学プログラム（期間6か月～1年）
2. ニューヨーク州立ストーニーブルック大学  
日本語研修プログラム（4週間）
3. その他国際関係学部が承認したプログラム



# TOEFL® テスト

TOEFL® (Test of English as a Foreign Language) は、主に英語圏の大学・大学院が英語を母国語としない学生の入学要件として求めているテストです。TOEFL-ITP® は、TOEFL® の作成元である ETS (Educational Testing Service) が提供する TOEFL® の団体向けテストプログラム (TOEFL® 模擬試験) です。

TOEFL-ITP® のスコアは公式なものではありませんが、出題形式や採点方法は従来のテストに準じており、学生の英語力判定に有効なだけでなく、本学部が実施する英語圏の各留学プログラムに参加するためにも必要となります。

本学部では、TOEFL-ITP® を年間4回実施しています。目標に向けた早めの準備、計画的な受験をしましょう。

## TOEFL-ITP® 平成28年度スケジュール

実施日	申込期間
6/11 (土)	5/12 (木) ~ 5/19 (木)
7/9 (土)	6/9 (木) ~ 6/16 (木)
11/26 (土)	10/24 (月) ~ 11/3 (木)
12/17 (土)	11/16 (水) ~ 11/24 (木)

上記日程は変更となる場合があります。

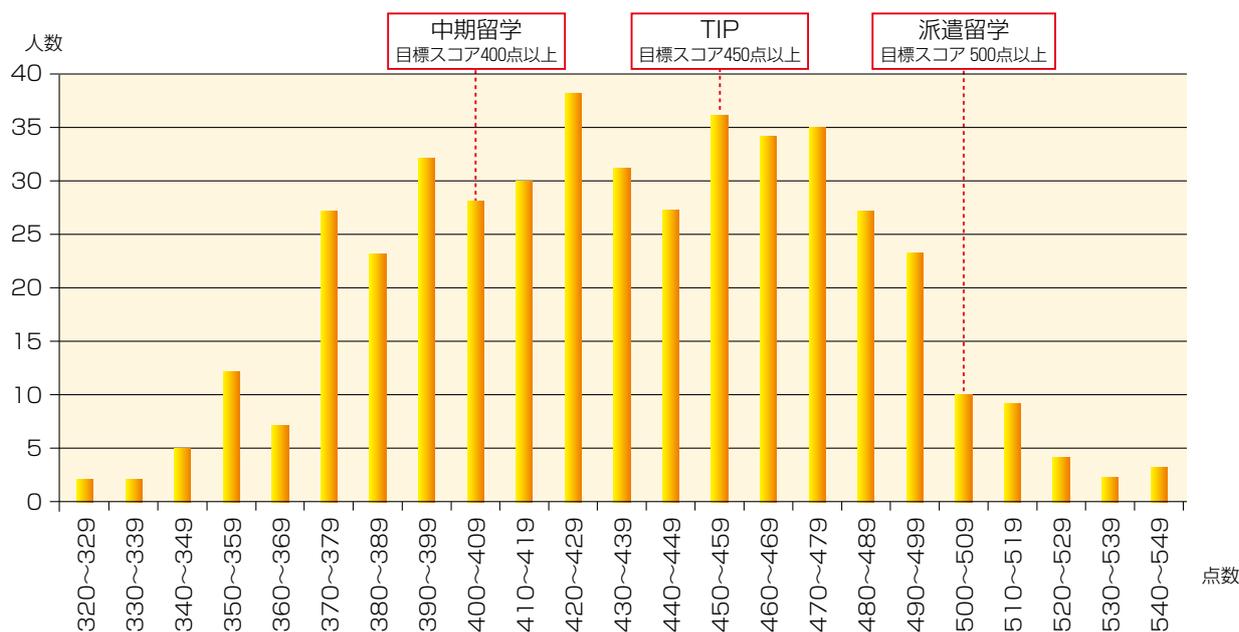
会場 日本大学国際関係学部  
申込場所 国際教育センター (本館1階)

## TOEFL® 説明会

TOEFL® について詳しく知りたいという学生のために説明会を実施しています。日程等の詳細は、国際教育センターまたは掲示で確認してください。

## TOEFL-ITP® スコア

平成27年4月から平成27年12月に本学部で実施した7回分のデータです。



人数は実数です。

## 体験記の紹介



ヨハネス・グーテンベルク大学(ドイツ)  
 留学期間：平成26年10月1日～平成27年7月25日

## 留学を終えて

国際教養学科  
 中田 紗緒里

私は、三年後期から四年前期の間、柳川海外交流奨学金をいただき、ドイツのマインツにあるヨハネス・グーテンベルク大学の社会学部に交換留学しました。国際関係学部に入學するまで、まさか自分が留学することになるとは思っていませんでした。大学で新しいことに挑戦したいという思い、ドイツ語を学ぶ上で感じた面白さが、留学に結びつきました。

一、二年次にドイツでの夏期語学研修に参加していたので、今回が三度目のドイツでした。マインツ大学は総合大学でありながら、キャンパスは一か所だけであるため、語学クラスには、様々な学部の学生が参加していました。自由にテーマを決めて行うプレゼンでは、それぞれが学ぶ分野について聞くこともでき、ドイツ語学習以外の部分での学びが大きな収穫となりました。私のクラスには、他に日本人がいなかったので、すぐに他国の留学生たちと仲良くなることができました。友人たちとは、カフェで一緒に勉強したり、自分の国の料理を振る舞ったり、旅行に出掛けたりと多くの時間を共有しました。留学中、正直なところ、日本に帰りたと思うことが何度かありました。特に冬は、連日のどんよりとした重い空と最悪の気候に苦しみました。授業での課題も多く、図書館や寮にこもることも多かったですが、他の学生も皆同じ環境なので、励まし合いながら、愚痴を吐き合いながら乗り越えることができました。

大学生活から出たところでは、趣味であるマンドリンを活かして、週に一度、隣町で活動するオーケストラに

参加していました。団員が10名程の小さなオーケストラでしたが、彼らとの交流は留学生活の中で大切な時間でした。合奏以外では、持ち寄りパーティーでドイツ料理や文化に触れる貴重な機会を持ってました。誕生日や団員の孫が生まれる度にパーティーをするので、一か月に二回は小さなパーティーがあり、ドイツの家庭料理を味わうことができました。本当に温かく受け入れてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。

ドイツ人は、あまり謝りません。例えば、待ち合わせに15分遅れてきても謝りません。なぜ謝らないのか聞くと、逆になぜ謝るのか聞かれました。なるほどと思いました。異国の地では、自分が普通だと思うことが、そうでないことの方が多いです。郷に入れば郷に従えと言いますが、日本人である自分も大切にしたいとの思いから、素直には従わないこともありました。日本は、いい国です。便利な国です。言葉は通じるし、20年以上暮らす母国です。ドイツは、日本と同じように経済大国ですが、日本ほどの便利さはありません。言葉が中々思い通りには通じない、異国です。豊かな生活とはどんな生活なのか、豊かな人生とはどんな人生なのか、自分の価値観を見つめ直す時間が多くありました。そんな時間を持てるのも、留学の醍醐味なのかなと思いました。

最後になりましたが、留学に送り出してくださったドイツ語の先生方、サポートしてくださった国際教育センターの皆様、応援してくれた家族、友人にとっても感謝しています。ありがとうございました。



友人とベルリン旅行



ヴィースバーデンマンドリンオーケストラ

## 北京大学（中国）

留学期間：平成26年9月26日～平成27年7月5日

本部派遣

## 「達成！」～1年の交換留学を終えて～

国際教養学科  
山本 桃子

「達成感」1年間の留学を終えた感想として、この言葉が私が一番似合うと思います。苦しいこと、楽しいこと、悩んだことなど全てひっくるめて、自分は留学をやり遂げたという気持ちでいっぱいです。

留学前は様々な悩みがありました。就職活動、教職課程、中国の環境、政治的問題など、正直悩みを語ればきりがありませんでした。ですが、それでも留学を決意したのは、高校時代から大学時代に留学したいという強い思いがあったからでした。勿論留学中、就職活動や教職課程などのことを考えなかったわけではありません。それらのことを考える以上に、毎日新しいことに出会い、様々なことを体験し本当に新鮮な毎日を送ることができました。

中国留学に行くと言うと、多くの人に心配されますが、中国人は私たちが思っている以上に元気でフレンドリーです。日本嫌いな中国人はそれほど多くなく、たくさんの方が日本の文化に興味を持っています。留学中、私は日本文化を多くの人に伝えたいと思い、様々な活動に参加しました。文化や伝統芸能などを伝える活動に積極的に参加し、たくさんの人と交流することができました。また、日中の政治問題を討論する活動にも参加しました。そこで目の当たりにしたのは、自身の知識のなさでした。北京大学の学生は知識量が本当に多いです。討論する前の下調べでは、中国の文献だけでなく、アメリカ、イギリス、日本などの文献も探してきます。それに比べて、私は日本と中国の文献しか探すことができず、毎回質問

されたことに対して、満身に答えることができませんでした。そのたびに、もう一度日本と中国の文献を読みこみ、次に繋がれるよう努力しました。また、様々な文化活動をする際に、中国人だけではなく、欧米人と交流することも非常に多かったため、自分の英語力のなさに落ち込むこともありました。特に私はルームメイトがスペイン人だったため、英語を使う機会が非常に多く最初は苦労しましたが、毎日諦めずに英語で会話をし続けたおかげで帰国するころには、ルームメイトとの会話もスムーズにできるようになりました。

さらに、留学中は旅行もたくさんしました。旅行をしたことで、中国の深刻な社会問題を見ることもできました。中国には北京大学、清華大学のような一流大学に通い、各国の留学生と交流する場を持ち、何か国語も操ることができる大学生から、農村部で育ち、中国語ではなく方言しか話せない人や手足を無くした貧しい人など様々な人がいます。近年経済が著しく成長し、今では世界第2位の経済大国にまでなった中国ですが、貧富の差はやはり激しかったと思います。貧富の差を解決することは中国の今後の大きな課題だと思いました。

最後に、留学を通じて、中国の良い面と悪い面の両方を知ることができました。また、日本の魅力を改めて知ることができ、非常に貴重な経験をすることができたと思います。将来は留学で培った語学力、コミュニケーション能力を活かし、訪日中国人に日本の魅力を、日本人には中国の魅力を伝え、日中両国の懸け橋になりたいです。



天安門



北京郊外の香山にてルームメイトと

## 中期留学

セント・ノーバート・カレッジ(アメリカ)

留学期間：平成26年8月20日～平成27年3月15日

## 7か月で乗り越えたもの

国際教養学科  
茨木 和香

はじめに、私の留学生生活をサポートしてくれたすべての人、家族、友人、先生方、留学先で出会った友人たちに私の感謝を伝えたい。楽しい経験もあったが、つらいことも多々あった留学生生活を乗り越えられたのは、こうしたすべての方々の助けや励ましがあったからに他ならない。

留学当初に痛感したのは、自分の意見や気持ちを母国語以外で表現する難しさだ。言いたいことがあっても、語学力が足りないせいで相手に上手く伝わらず、もどかしさが募るといふ繰り返して、自分に自信が持てなくなった。しかし、それを克服するには話すことだ、と自分で考え、毎日できるだけたくさんの人と会話をする努力をした。自分の意見を述べるのが恥ずかしいとか、自分の考えが正しいのかどうか、といったことを気にする余裕もなくなっていった。こうしてたくさん話すことで、英語を話すことに楽しみを感じるようになり、また相手から新たなアイディアを得たり、自身の意見を磨いたりすることができた。

また、毎日の課題の量が多いということは、事前の説明会や友人たちの説明で聞いていたことだったが、実際にこなしていくと、予想以上に各授業で出される課題が多く、内容も難しいものだった。毎年の留学生たちと同じく、平日は毎日3、4時間を図書館で過ごし、課題に追われる日々が続いた。はじめのころは要領が分からず、5時間近く図書館にこもった日もあった。しかし、課題をやらなければ次の日の授業の内容がさっぱり分からず、ただ机に座っているだけになってしまう。だから私は毎日どれだけ遅くなくても、図書館で課題に取り組んだ。このとき私を励ましてくれたのが友人の存在だった。お互い課題に取り組み、分からなければ助け合い、励まし合いながら勉強すると、いつの間にか課題が終わっていたことも多くある。こうした日々の努力の甲斐あって、私は自身の語学力の向上を感じ、また3月に行われた卒業式では代表のあいさつに選ばれた。先生方はもちろん、日本人やアメリカ人の友人たちの前で英語でスピーチをする気恥ずかしさは感じたが、それ以上に、自分の英語

力を先生に認められたような嬉しさがこみ上げてきた。卒業式の一週間前には日本語で書いた原稿を英語に直し、チューターや先生に見せ、練習を開始した。暗記をする必要はなかったが、何度も読み直して、自分の満足できるレベルになるまで練習した。練習の甲斐あって、本番では緊張していたものの、落ち着いてスピーチを読み上げることができた。終わってすぐに緊張が解けて泣いてしまったが、自分の中では今まで一番うまくできたものだった。私は元々人前に立つことがどうしても苦手な人で、いつも失敗ばかりしていた。しかし今回はミスもなく、自分でも分かるほど堂々と話すことができた。そして何よりも嬉しかったのが、スピーチが終わってから、みんなから「上手だったよ」、「感動したよ」と褒めてもらったことだ。日本人、アメリカ人関係なく、私のスピーチを聞いた人がわざわざ私のところに感想を言いに来てくれたのだ。そして先生方からは、あなたを誇りに思う、あなたのような生徒がもっと増えてほしい、という言葉をかけていただいた。7か月間の私の努力の全てが認められた気がして、とても嬉しかった。勉強のこと以外にも、人間関係やホームシックなど色々かつらいことがたくさんあった7か月の留学だったが、行ったことは後悔していない。かけがえのない友人ができたことはもちろん、自分の限界に挑戦できたことで自分の内面を磨き、成長することができたからだ。



先生方と

## 中期留学

## ゴア大学（インド）

留学期間：平成26年9月20日～平成27年2月28日

## 外にある社会

国際教養学科  
宮崎 開

日本から飛行機でおよそ12時間、ゴアはインド西岸部にあるアラビア海に面したインドでもっとも小さな州である。世界的に観光の分野でも非常に人気のあるインドだが、ゴアには日本人はおろか、私たちのような東アジア顔を持つ人はあまりいない。

インド国内には多くの宗教が同時に存在している。インド留学を果たす以前の私のイメージでは、宗教と宗教の間にはどことなくギスギスとした雰囲気漂い、「宗教間を超えた話はタブーとされているものである」と思い込んでいた。留学中、私たちの過ごしたゲストハウスの近くには、インド人の学生が住む学生寮があり、もちろんそこに住む学生たちもそれぞれがそれぞれの宗教を信仰していた。学生のみならず仲良くなり、共に過ごす時間が多くなるにつれて、ふざけているだけではなく、宗教や政治の話など深い話が増えていった。すると、思ってもいなかった話が進む。私が以前に持っていたイメージとは大きく異なり、彼らはそれぞれが互いの宗教をたたえ合いながらも、互いのタブーについて語り合い、険悪な雰囲気になることなく話し合う。また、それぞれの祭りの時には他の宗教の友人たちをも招き、互いに祝っていた。そして、特定の宗教を信仰しているわけではない私を否定することなく、認めてくれる懐の深さも兼ね備えていた。これらのことは、私が日本から見ていた宗教という分野の中におけるイメージを完全に壊し、また私の持っていた考え方と全く正反対とも言える一面を教えてくれた。宗教に限らず、インドには言語や、文化、人種など複数の種類の物事が同時に存在している。



ヒンディー教の祭ホーリーにて

一足州をまたげば、話していたはずの言語が通じなかったり、全く顔のタイプの異なる人たちに囲まれていたりするのだ。プログラムが終了してから、私は南インドのバンガロール、マイソールという町に行った。ゴアはインドの中で最も裕福な州のため、ほとんどの人が教育を受けており英語をネイティブ並みに使うことができる。しかし、他の州では教育を受けられずに英語を理解することができない人も多い。インドの州は地域ごとにそれぞれ独立した言語をもっている。同じインド人同士でも、言語が障壁になってしまい会話が成立しないこともあるそうだ。バンガロールでは、移動しようとリクシャーに乗ってみたが、料金交渉や行先の伝達に苦労した。どのドライバーが英語を理解できるのか、わからないのだ。それほどにも、インドには、まるでごちゃごちゃに混ぜられたサラダのように、たくさんのことが入り乱れ存在している。

日本にいる限りでは、おそらくこれらのことを完全に理解するのは難しいだろう。私たちは、日本中どこに行ってもコミュニケーションがとれ、まわりの人たちの見た目もさほど変わらない社会で生活している。直接見たり、直接感じたりしなければわからない事がこの世界にはある。これほどまでに多くを抱きこんでいるインドだからこそ、出会えた友人、味わえた雰囲気、経験があった。人間はたかが半年間だけでは変わることはできない。どれだけ私が成長できたかは、これからの生活に表れてくることだと思う。



ビーチまで

## 中期留学

## 北京大学国際関係学院（中国）

留学期間：平成27年3月8日～平成27年7月4日

## 中国留学で得たもの

国際総合政策学科  
中村 祥子

私は平成27年3月から7月まで、北京大学国際関係学院に中期留学をしました。私にとって、中国最高峰の北京大学への留学は、大学入学当初からの目標でした。

幼い頃から私は、長年中国語を勉強している母の影響からか、中国に興味を持っていました。また、中学生の時に初めて旅行で訪れた外国は、やはり中国でした。私は北京で、勢いよく大声で話す中国人に圧倒され、その上中国語も分からなかったので、中国人と全く話すことができませんでした。また、言葉が分からないことで、コミュニケーションがうまくできないことを私は悔しいと感じました。この時、中国語を勉強して、いつかもう一度北京へ行き、この悔しさを晴らしたいと私は決意しました。したがって、今回の中期留学がまさにその6年前のリベンジでした。

不安はありながらも、ついに出発日となり、同じく北京大学へ中期留学をする8人と一緒に日本を旅立ち、留学生活が始まりました。北京に到着して最初の頃、生活環境を整えることに時間がかかり、毎日、身体的にも精神的にも休む時間はありませんでした。しかし生活に慣れてくると、休日に日中交流会など様々なイベントに参加したり、中国を観光したりと、気持ちに余裕ができました。そして幸いにも、宿舎では、日本人留学生の先輩方などが私たちの留学をサポートしてくださったので、とても心強かったです。また、一緒に留学をしている8人のメンバーでよく集まり、助け合って生活をしていました。皆で会うことが少なくなっても、メンバーの誕生

日には必ず皆でお祝いをしていました。私にとって、この8人のメンバーは心の支えでした。

また、到着の翌日から授業が始まりました。私たちは、北京大学で中国語の授業や中国経済などの授業を履修しました。授業の内容が難しく、理解しにくい時など、授業が全て一緒だった韓国人留学生たちにも助けられていました。同じ3月に北京に来て、同世代である彼らを含め、北京大学で勉強する優秀な学生たちの勉強への姿勢や積極性に、私は常にとても良い刺激を受けていました。たとえば、クラスメートにアドバイスをもらい、買う気がなくてもお店へ行って、今まで授業で学んだ単語やフレーズを使うようにして、中国人の店員と少しでも話すことを習慣にしていました。そこで私は、相手に言葉が通じないことを恐れず、知っている言葉を使って話してみる勇氣を持つことが大切だと分かりました。

最後に、今回の留学を通して、私は多くの中国人や留学生と出会い、中国語を話すことに自信を持つことができたので、6年前の悔しさは晴らすことができたと思います。同時に、中国で生活をしていくうちに、日本人は中国や中国人をあまりにも誤解しすぎているのではないかと思う点が多くありました。また、ニュースなどからではなく、直接中国を「知る」ことで日本を客観的に見るようにもなりました。そう考えるきっかけを与えてくれたのがこの中期留学でした。家族や留学を支えてくださった全ての人に感謝いたします。ありがとうございました。



日中交流会で



万里の長城でクラスメートと

認定留学

## ノルテ大学（コロンビア）

留学期間：平成26年7月28日～平成27年6月4日

## Mi otro cielo en Colombia

国際総合政策学科  
佐久間 美玲

私は2014年7月から2015年9月まで、コロンビア第三の都市バランキージャにあるUniversidad del Norteに交換留学生として約1年間留学をしました。

コロンビアといわれると、危険というようなイメージを抱く方が多いのではないかと思います。私も最初そのようなイメージを持っていました。しかし、コロンビアで1年間過ごし、この国の多くの魅力を発見することができました。

留学先の大学では国際関係学科に留学し、正規生と共に授業を受けました。中南米における国際関係学やコロンビアの文化、歴史の授業を中心に履修し、プレゼンテーションや課題などすべてスペイン語でこなすのは、慣れるまで大変でしたが、先生方や友人の協力のおかげもあり毎授業楽しく受講することができました。また、スペイン語を受講した際は、スペイン語で母国についてのプレゼンをし、他国の文化に触れることができました。

留学プログラムの中にあるアクティビティーではバランキージャの観光地を巡り、コロンビアの伝統的な料理や踊りを学びました。また、学内では1年間で様々なイベントが行われ、留学生による自国の文化紹介やAsia Pacifico 2015というイベントも行われました。このイベントには在コロンビア日本大使館の方々も参加しており、ノルテ大学で唯一の日本人学生だったこともあり参加する機会を頂きました。このような大きなイベントに参加させて頂いたことはとても貴重な体験でした。

留学では学業に追われながらも、現地の友人や知人に助けられながら、彼らと様々な経験をし、たくさんの思い出を作ることができました。文化や習慣、人々の価値観、日常的な停電や断水等、日本とは全く異なる国で生活することは戸惑いもありました。しかし、「郷に入れば郷に従え」という言葉があるように現地に馴染んでこそ留学は成功するのではないかと思います。コロンビア人はとにかく優しく情熱的で陽気な人柄で、外国から1人で来た私をコロンビアに温かく迎え入れてくれました。多くの友人とはここでは語りつくせないほどの思い出がたくさんあります。

また、1年間バランキージャにある日本語教室でボランティアをしていました。この経験は、スペイン語のレベルアップにもなり、日本とコロンビアの文化交流や日本語教室の生徒たちと濃い時間を過ごすことができました。

最後に、1年間のコロンビアでの留学はとても充実しており、時間が過ぎるのがとても早く感じました。留学での経験や知識、人との出会いはどれも特別なものばかりで、すべての思い出が宝物です。留学が成功したのも日本で支えてくれた家族や友人、先生方、現地で出会った大切な方達です。全ての人にこの場をかりて感謝を伝えたいと思います。これからは1年間で培ったものを糧にし、次のステップに挑戦し続けたいと思います。これから留学を考えている方も私と同じように素晴らしい経験、人との出会いが訪れることを願っています。



Asia Pacifico 2015



留学アクティビティープログラムサンタマルタ観光

## ジョイント・ ディグリー・ プログラム



ニューヨーク州立ストーニーブルック大学(アメリカ)  
研修期間：平成25年8月26日～平成27年8月26日

## ジョイント・ディグリー・プログラム報告書

国際教養学科  
山田 哲也

私は2015年5月にストーニーブルック大学を卒業し、日本に帰国した。今回のレポートでは2年間にわたるアメリカ生活、特にジョイント・ディグリー・プログラムを通じた留学生としての視点で、その滞在中の出来事を学業面、生活面の二つの観点で振り返る

私がアメリカで教育を受ける上で最も強く感じたことは、アメリカでは多くの学生が「スキル」を身につけるべく、大学に進学しているということだ。私はアメリカで学生生活を送るうえで、「君は何を専攻しているの?」という質問に加え「それで君は何ができるの?」という質問を頻繁に受けた。近年アメリカでは4年制大学卒業時点での仕事(Entry Level Jobs)を見つける際でも多くの企業が即戦力となる人材を求める。そのため、学生は4年間もしくは、それ以降の教育を通じ、自分の専門分野で何か武器となる「スキル」を習得することを強く意識し日々勉学に励んでいる。特にストーニーブルック大学ではサイエンス、エンジニア、アートの分野が特に盛んで、自らの技術を高め、手に職をつけるといった意識をもった学生が多い。例えば、コンピューターエンジニアを専攻する友人は、様々な難解なコンピューター言語を巧みに使いこなし人工知能の研究をし、また、アートを専攻する友人はPhotoshopやIllustratorなどの高度なソフトウェアを使い、学生ながら多くのイベントの広告などを依頼されデザインしていた。そのような環境に身を置くことで、私は焦りと向上心を覚え、常に「自分のスキルの向上」を意識する日々を過ごした。その中で私が描いた大学卒業時の理想の姿は「さまざまな物事に幅広い知識をもち、チームの中で柔軟に、また、堅実に自分の居場所を見つけ貢献していける人物」になることであった。理想の人物像に近づくため最も有意義な学びの環境を得るべくMultidisciplinary Studiesでメディアアート、ビジネス、アジア人類学を複合専攻し、クラスごとに違うバックグラウンドを持つ学生と学ぶ環境に身を置きそこで柔軟に対応していく能力を養った。例えば、メディアアートのセミナークラスでは映像製作を学ぶ仲間と協力し、彼女の作り上げる映像と私の作っ

た3D音源を組み合わせ、作品を制作した。私のストーニーブルック大学での学びは「スキル」を身につけるのみではなく、幅広い分野に置ける知識を身につけ、それらを組み合わせ新たな物を創造する能力を養うことに重点を置いていた。

私は学業外でも非常に充実した時間を過ごした。なかでも趣味である音楽をニューヨークでも続けることにより、様々な機会を得ることができた。共通の趣味を持つ知人の紹介で学内にあるライブハウスとレコーディングスタジオでの仕事に就き、音響エンジニアとしての専門的知識やアメリカの多くのプロフェッショナルな音楽家たちと関わる機会を得た。これらの刺激的な経験やアメリカで築いたコネクションは、今後の私の人生に置いても重要な役割を担う事であろう。

私は2年間の留学生活を通じ、大変多くの事を学んだ。アメリカの大学でフルタイム学生の一人として常に自分で道を切り開いてきたこの2年間の経験は、私の大きな自信となっている。



勉強中

## 短期海外 語学研修



### トロント大学 (カナダ)

研修期間：平成 27 年 8 月 1 日～平成 27 年 8 月 30 日

## I'm CANADIAN

国際教養学科  
押川 七彩

私は1年生の夏休みを利用して、カナダのトロント大学で約1か月のENGLISH LANGUAGE PROGRAMに参加しました。

このプログラムに参加したきっかけは、自分の英語力を試してみたいということと、カナダ人が話す英語や、自然、文化、ライフスタイルを実際に見たいと思ったからです。また、多くの民族が平和に共存していることに興味があったからです。

海外に行くことが初めてだったので、楽しみもありましたが、不安もたくさんありました。ですが、飛行機の中ではキャビンアテンダントの方がやさしく話しかけてくれたことや、カナダに着いてからホストファミリーとたくさん話したことで徐々に緊張感がほぐれていきました。

ステイ先では、毎日の朝ごはんをステイ先にいた中国、スペイン、キューバからきた3人の留学生と一緒に食べました。そこで日本の話をしたり、中国語を教してもらったり、スペイン語で話すこともできました。そして毎日、中国人の留学生と一緒に学校へ行き、その間お互いの国のことをたくさん話しました。最初は自分の言いたいことが言えませんでした。徐々に言いたいことが言えるようになり、自分に自信がついてうれしくなりました。また、マザーに「とにかく外へ出掛けなさい」と言われたおかげで、自分たちで調べることや、周りの人に英語を使って質問したことで、何でも自分たちで挑戦することができました。

また、自分たちのことをI'm CANADIAN. だと思っ



トロント大学で友だちと

て、帰り道は英語だけで会話しながら帰ったこともありました。

カナダの犯罪率の低さには驚きました。地下鉄の中ではたくさんの人がくつろいでいて、新聞には犯罪の記事がほとんどないことからトロントが安全な街だとわかり、安心しました。トロントが安全な町だと言われるのは、カナダでの銃の持ち込み、使用の禁止や、多文化主義政策によって互いの民族や人種を尊重しながら生きているカナダ人の国民性が理由だということがわかりました。

週末にはナイアガラの滝に行ったり、カヌー体験など、トロントでしか味わえない貴重な体験をすることもできました。

授業はすべて英語で行うため、クラスの全員が“English Only”を常に意識して授業を受けました。クラスは少人数でクラスメイトは全員が日本人でしたが、いろいろな大学から来ていて、みんな英語に対する意識が高く自分も常に英語で話すことを意識しました。授業は、日常会話や英語でのディスカッション、プレゼンテーションを中心に行われ、カナダの歴史や文化についての授業もあり、カナダについて多くのことを学ぶことができました。

私は英語を話すことが好きでしたが、1か月過ぎてカナダのことが大好きになり、もっと英語を話したいと思うようになりました。実際に現地に行って勉強することで今まで知らなかったことや発見がたくさんあり、自分の視野が広がったことを実感しました。カナダで過ごした1か月は一生の宝物です。



ナイアガラの滝



ティーチング・  
インターシップ・  
プログラム

Discovery School of Lancaster(アメリカ)  
派遣期間：平成27年2月3日～平成27年4月3日

“I really enjoyed your class!”

国際総合政策学科  
平野 楓花

私はTIP（ティーチング・インターンシップ・プログラム）に参加し、日本人インターンとして平成27年2～3月の2か月間アメリカの小学生たちに日本文化や日本語の素晴らしさを伝えてきました。

私がなぜこのプログラムに挑戦したかという、入学して間もない留学ガイダンスで派遣経験者の先輩のお話を聞いて、私もあんなふうになりたい！と思ったからです。また、学内には様々な留学プログラムがありましたが、「学びに行く」のではなく「教えるに行く」という他と少し違ったコンセプトに強く惹かれました。TIPは半年間の様々な選考を経て派遣が決まります。私は2年次に申請しましたが惜しくも最終選考で落ちてしまいました。この悔しい結果のまま卒業するわけにはいかなく、私には夢を諦めるという選択肢はありませんでした。今振り返ってみても派遣が決まるまでの道のりは人一倍長かったのですが、再挑戦して本当によかったと思っています。

アメリカはオーストラリアやニュージーランドとは異なり派遣者はたった一人です。私はそれまで一人で海外に行ったこともなければ、2か月間も海外に滞在したこともなかったので不安でいっぱいでした。今まで味わったことのない緊張のなかアメリカに初上陸したのですが、空港であたたかく出迎えてくれたホストファミリーのおかげで一気に不安は打ち消されました。現地では素晴らしい出会いばかりでした。お世話になった2件のホストファミリーをはじめ、Discovery SchoolやEagle programのすてきな先生方、そしてなによりキラキラ

した目でいつも私の授業に耳を傾けてくれた元気いっぱいかわいい子ども達のおかげで、毎日が新鮮で楽しくて仕方ありませんでした。

私がTIPを通して学んだことは2つあります。1つ目は笑顔がいかに大切かということです。入念に計画したり教材を用意したりすることももちろん大事ですが、子ども達を授業に惹き付けるためになによりも大事なものは笑顔なのだ実感しました。ある日、授業終了後に生徒が“I really enjoyed your class!”と真っ先に言いに来てくれたことは今でも忘れられません。「こんな私でもここまでできるんだ」と子ども達の笑顔は私に自信を与えてくれたと同時に、今まで見たことのない自分の力を発見させてくれました。2つ目は力を尽くしても結果が出るとは限らないということです。しかし夢を掴み取るために全力を注いだ期間は無駄になるのではなく、必ずすべて自分の貴重な財産として積み重なります。諦めなければ失敗ではなく、成長に変わることをTIPを通して学ぶことができました。

最後に、熱心に指導して下さった先生方、家族や友人そして先輩など、気がつけば本当に多くの支えがあって乗り越えられたのだと思います。そしてなによりも楽しいことも辛いことも共有し合ったかけがえのない10人の仲間達に感謝しています。日本での研修、アメリカで得た数えきれない経験を活かし、教員免許取得に向けて残り数か月の大学生生活も実りあるものにしたいです。本当にありがとうございました。



年賀状の授業にて



ソーラン節の授業にて



ティーチング・  
インターシップ・  
プログラム

## ナラン学校 (モンゴル)

派遣期間：平成27年9月1日～平成27年10月30日

# モンゴルの生活と教師を体験！

国際総合政策学科  
江連 知美

このプログラムに参加したのは教師を目指しているからではなく、モンゴルに興味があったからでした。広大な大地に草原が広がっていて、そこに遊牧民が暮らしている、というのが私達のモンゴルのイメージではないでしょうか。隣の韓国、中国の食事や習慣については見当がつくにも関わらず、モンゴルのそれらについては全く想像ができません。だから、私はモンゴルに魅力を感じたのです。教師という職業に挑戦しながら、現地の一家族の一員としてモンゴルの生活を体験してきました！

モンゴルへ行くことが決まってから、本学部でモンゴル語とモンゴル地域研究の授業を受け、ゲルの歴史、遊牧民の食生活、なぜ遊牧生活なのか、社会主義時代、現在のモンゴルの抱える社会問題等を学び、モンゴルへの知識を深めました。しかし、模擬授業の研修はなかったので、私は塾でアルバイトを始め経験を積むことにし、派遣されるまでの期間はこの様に準備を進めていきました。

現地に着陸後、車で5時間程かけて到着したのは新しいマンションに住む私のホームステイ先。既に23時過ぎでしたが外で子供たちは遊んでいました。モンゴル人はどんなに夜遅くてもお客さんをもてなすという習慣があり、私は早速モンゴル料理を頂きました。モンゴルの食事は基本的に毎食肉料理で、冷凍庫は、人間の頭一個分くらい肉の塊で埋め尽くされていました。私は牛肉、羊、山羊の肉を食べる機会が多かったです。

さて、派遣先はモンゴルの首都ウランバートルに続く、第二の都市ダルハンにある小・中・高一貫校の新ナラン

学校です。この学校は科目として日本語を設けていますが、それ以外にも日本語能力試験対策、体育、図工等があり、私はそれらの授業も担当しました。

実際に生徒と触れ合ってみると、多くの高校生は、日本語でコミュニケーションを取ることに困ることはありませんでした。学年ごとにレベルが違うのはもちろんですが、同じ学年でも理解度の高い生徒と、そうでない生徒がいる中でどの様に授業を進めていくのが課題でした。また、普段他人に注意をすることが苦手な私には、良くないことを指摘することがなかなか出来ませんでした。

前年の派遣では、日本語教師数名とモンゴル人の通訳の先生がいましたが、今回はどちらもおらず予想外の状況でした。担当するクラスや授業は急遽変更され、授業が始まる直前に伝えられることも多々ありました。また、断水や停電もよく起こりました。

そんな状況の中、私が気づいたことは勇気を出して一歩踏み出してみることでした。というのは、些細なことだと思っていることでさえも、口に出して伝えることで、その授業、生徒、先生との関係、一日が変わったからです。モンゴルの生活に興味を持って挑戦したこのプログラムで、私は勇気を出して伝えることで、未来がガラリと変わるということを経験できました。大学生活の中で何かに挑戦すること。その一つの選択肢として、教師を目指している人も、いない人もこのプログラムに挑戦してみてくださいはどうか？勇気を出して一歩踏み出して！



授業風景



首都ウランバートルにて

# 教員の交流

## ■モンゴル・ナラン学校 ドルジ・ネルグイ校長が来校

平成27年度国際関係学部招へい教授として、モンゴル国ダルハン・ウール県ナラン学校の校長ドルジ・ネルグイ先生が、平成27年6月7日（日）～20日（土）の14日間来校されました。先生は日本語の教員で、2013年に校長に就任し、モンゴルの日本語教育等の発展に貢献しています。ナラン学校はモンゴル第2の都市ダルハンにあり、モンゴル語と日本語で教育を行う私立の小・中・高等学校で約150名が通学しています。日本とモンゴルの良好な関係の中で、日本語の言語教育と日本語による日本文化の学習と相互理解を目標に、夏季には日本の学校を1か月間訪問し両国の関係を発展させています。

国際関係学部とナラン学校の交流は、平成26年度から日本大学国際関係学部ティーチング・インターンシップ・プログラム（モンゴル）が始まり、これまで学生4名がモンゴルを訪問しナラン学校の生徒に日本語による授業や文化交流をしています。平成27年度からは海外ゼミ（モンゴル）も実施され、学生がナラン学校や孤児院、大学、遊牧民、草原などを訪問し、異文化理解や体験交流により国際的視野を広げています。

招へい期間中、先生は学部学生を対象に、モンゴルの歴史や文化、最新の社会状況や課題、衣食住や人々の日常生活を中心に5回の講義を行いました。学生は、時には講話や映像に驚きつつ、新しい視点と情報を得て、国際的視野を広げ、モンゴルへ大きな関心を持ち、その後の学修や進路に活かしています。

日付	時限	講義内容	対象
平成27年6月8日（月）	1	「モンゴルの言語と文化」	総合政策・教養
平成27年6月10日（水）	4	「モンゴルの教員養成のしくみと教授法」	総合政策・教養
平成27年6月11日（木）	2	「モンゴルの学校教育：現状と課題」	総合政策・教養
平成27年6月12日（金）	5	「モンゴルの歴史と文化」	総合政策・教養
平成27年6月15日（月）	4	「現代モンゴルの人と生活」	総合政策・教養

今回の交流を機に、モンゴルの生徒は日本への留学を希望し勉学に励んでいます。本学では、グローバル化や多様性にも対応できる人材育成を目指し、モンゴル語を含む多くの外国語授業を開設しています。招へい教授から直接様々な国や地域、文化について学ぶという機会は貴重であり、国際関係学部の特徴です。モンゴルに興味がある方は、TIPモンゴル、海外ゼミ、モンゴル語の授業等で学びましょう。



学部長、堅尾先生、永塚先生と



授業風景



授業風景

# 留学がすべてがここに



## 手続き

- 留学に必要な手続きがわかる。
- プログラムの申込ができる。



## 留学先

- プログラムの内容がわかる。
- 留学先の写真・動画が見れる。



<http://goo.gl/QAWgy>  
国際教育センターWEBサイト

## 体験者アンケート

- 持っていった方がいいものは。
- 現地ではいくらお金が必要か。



## TOEFL®

- TOEFL®の試験情報が見れる。
- 留学するにはあと何点必要かわかる。



アクセスには本学専用メールアドレスとパスワードが必要です。



**COLLEGE OF INTERNATIONAL RELATIONS NIHON UNIVERSITY**

**2016**



日本大学国際関係学部 国際交流委員会